

# 地域包括 かこがわ便り



## 新メンバーからのご挨拶



左：「看護師の武田です。皆様とお会いできるのを  
楽しみにしています。よろしくお願いします。」  
中央：「主任ケアマネジャーの安藤です。この4月から地域支援事業  
担当になりました。微力ですが、精進させていただきたいと  
思います。」  
右：「社会福祉士の副田です。のんびりした性格ですが、  
皆様のお役に立てるよう努めてまいります。」

## 介護者のつどい ご報告

4月10日、新年度になり第1回目の介護者のつどいを開催しました。  
明治安田生命 加古川営業所 所長代理の福田様を講師にお招きし、エンディング  
ノートについての講話をしていただきました。「最期まで自分らしく」生きる為に  
エンディングノートの活用方法について、みなさん熱心に話を聞かれていました。  
また、生前贈与や贈与税についてなど、興味深いお話もしていただけました。



6月12日、第3回の介護者のつどいでは兵庫ヤクルト管理栄養士 森田様  
に来ていただき、腸の健康についての講話をお願いしました。「腸の健康度チェ  
ック」を通し、おなかの調子を整えて毎日健康に過ごすためのポイントを  
教えていただきました。

その後はハンドマッサージを参加者同士で行いました。ハンドマッサージには  
手の新陳代謝を促して、手を綺麗にするという効果があります。また、人に手を  
握ってもらうと安心するように、手に触れるという行為は相手の心にも作用します。

参加者の皆さん、手も心もリフレッシュした様子でした。



## 西大野いきいきふれあいクラブ 交通安全教室開催



4月22日、「西大野いきいきふれあいクラブ」に於いて「交通安全教室」が開  
催されました。兵庫県警本部と加古川警察から4名の警察官が来られ、ドライ  
ブシュミレーターと歩行シュミレーターの大がかりな機械が運びこまれました。  
運転の様子がスクリーンに映し出され、衝突しそうな危険な場面では「あー危な  
い」という声や「いつもと感覚が全く違い難しい」との感想も聞かれました。  
歩行シュミレーターの体験では、警察官扮する「おきくばあさん」が登場し、自  
宅近くの慣れた道での事故に遭われることが多いとの説明に一同納得された様子でした。

今回春の交通安全週間ということで、NHKのテレビ取材もあり、皆さんやや緊張した面持ちでしたが、地  
域の看護師として健康保持の支援に加え、交通事故防止に対する取り組みとして、市や警察と連携を取っていくこ  
との重要性を感じました。

# 認知症サポーター養成講座 かこがわグループの活動



4月17日、「神川工務店」様13名を対象にサポーター講座を開催しました。こちらは日頃、マンション管理をされている会社で、近年高齢者の単身入居者が増加しているということで、熱心に受講されていました。認知症の入居者トラブルを寸劇形式で披露し、それを元に意見交換を行い、理解を深めました。認知症への関心が企業でも高まっており、受講依頼を頂く機会が多くなってきています。

5月12日、恒例となっております「但陽信用金庫」様の新人職員の方45名を対象にサポーター講座を開催しました。フレッシュな新社会人の皆さんは、これまでに認知症のご病気の方と接した経験は少ないようでしたが、「これから信金職員として優しく対応していきたい」と意気込みを新たにしておられました。



6月17日、加古川総合庁舎内東播磨生活創造センター「かこむ」で活動されている「加古川美育推進プロジェクト」の皆様42名を対象にサポーター養成講座を開催しました。こちらは、花の植え込みや学校のクラブでフラワーアレンジメントの指導など、多岐にわたって活動されている団体です。「認知症について知識が深まった。認知症予防に花の持つ力を活かしていきたい」とお言葉をいただき、心強いサポーターが増えてくださりました。

近年、認知症のことをメディアで取り上げる機会が増え、関心が高まっています。偏りのない、正しい知識を皆さんに知っていただくため、これからも頑張っていきたいと思えます。

## ケアマネジャー研修会！

### 「加古川町内事例検討会」

4月21日、センター内の会議室において、加古川町の居宅ケアマネジャーを対象に事例検討会を開催いたしました。

今回、初参加からベテランまで12名の方に参加いただき、「認知症・独居高齢者の家族と情報共有に苦慮している事例」について検討しました。参加者からは、事例提供者の思いに寄り添いながら、気づきをもたらす質問を投げかけてくださり、一人で悩んでいた事例提供者も「前向きに頑張ります」との感想も聞かれました。現在加古川町には19か所の事業所がありますが、その1/3は一人所属のケアマネジャーとなっております。ケアマネジャーのネットワーク作りと事例の見立て力を養う目的で、今後も開催を予定していますので、気軽にご参加ください。



### 「6包括合同研修会」

6月17日に、加古川市民会館小ホールにて、二市二町のケアマネジャーを対象とした6包括支援センター合同開催の、研修「気づきの事例検討会」が開催され、約140名のケアマネジャーの参加を頂きました。

兵庫県対人援助研究所 稲松様をスーパーバイザーにお招きし、壇上に6名の事例検討者を据え、公開形式で検討会を行いました。

「目が見えにくくなり生活が一変した利用者への対応」についての事例提供があり、検討者に多角的に質問を投げかけてもらい、それに対して1問1答形式で答えていく過程に触れることができました。

大勢のケアマネジャーが一言も聞き漏らさないようにと、真剣なまなざしを向けて学ぶ姿勢がとても印象的でした。

